

## 2. 海老江東地域の特性と予想される被害

### (1) 地域の特性

海老江東地域は、東西を2車線の道路が貫き、阪神電車野田駅や近くには、JR東西線海老江駅、地下鉄野田阪神駅がある交通の便が良い地域です。

大型ショッピングセンターの近くに大規模マンションの建築が進んでおり、今後、住民の大幅な増加が見込まれる地域です。また、マンションが増加する一方で、昔からの町並みも残り、毎年行われる八坂神社の夏祭り、盆踊り、運動会、餅つき大会と地域の活動が盛んな地域です。

### (2) 防災面からみた海老江東地域

海老江東地域を防災面からみると、北側に淀川が流れていることから台風や豪雨などによる水害への注意が必要な地域です。

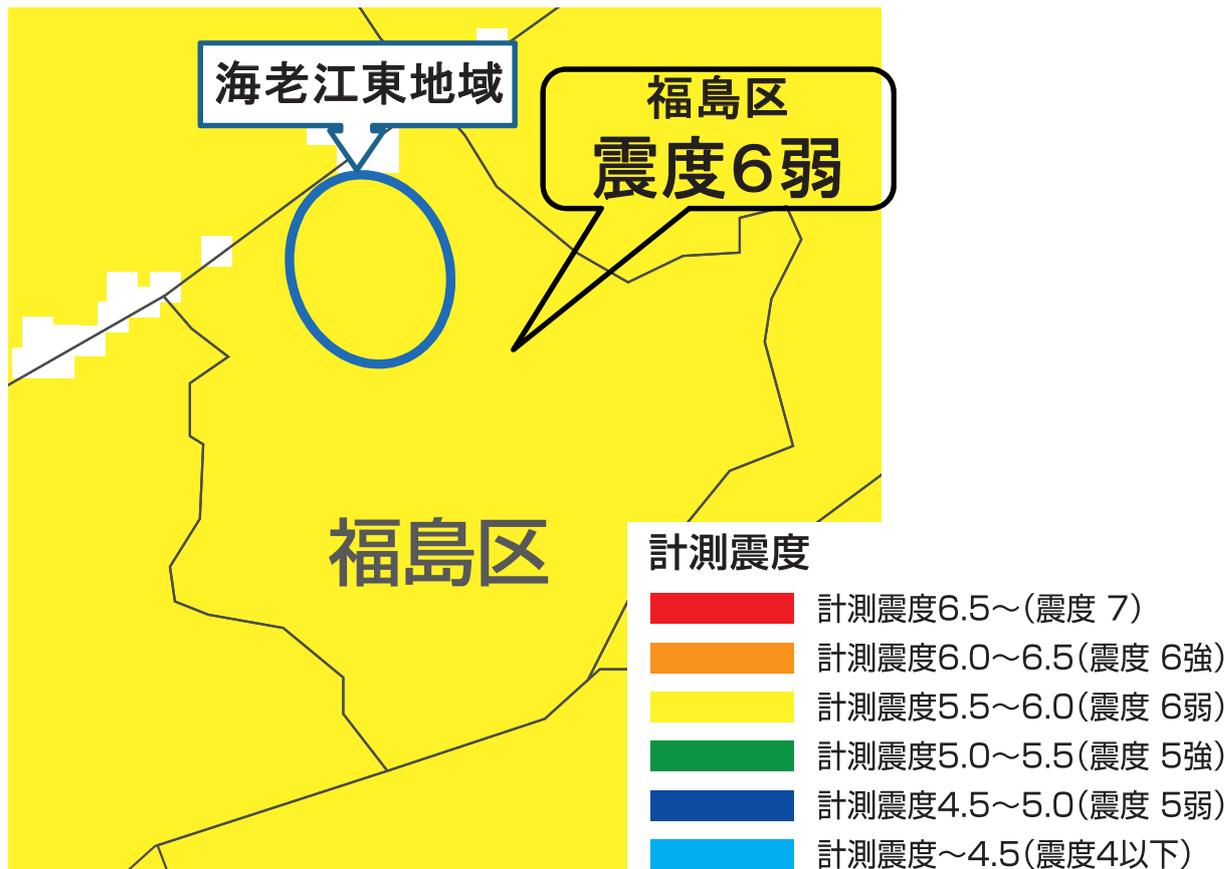
古くから残る家屋が密集している地域では、火災時や大規模地震での家屋倒壊などによる道路の寸断により、車両の通行が困難となるため公的機関による消火活動や救助活動が遅れることが考えられます。

水害による被害を抑えるためには、地域での被害想定を知り、いざという時の避難先を決めておく必要があります。

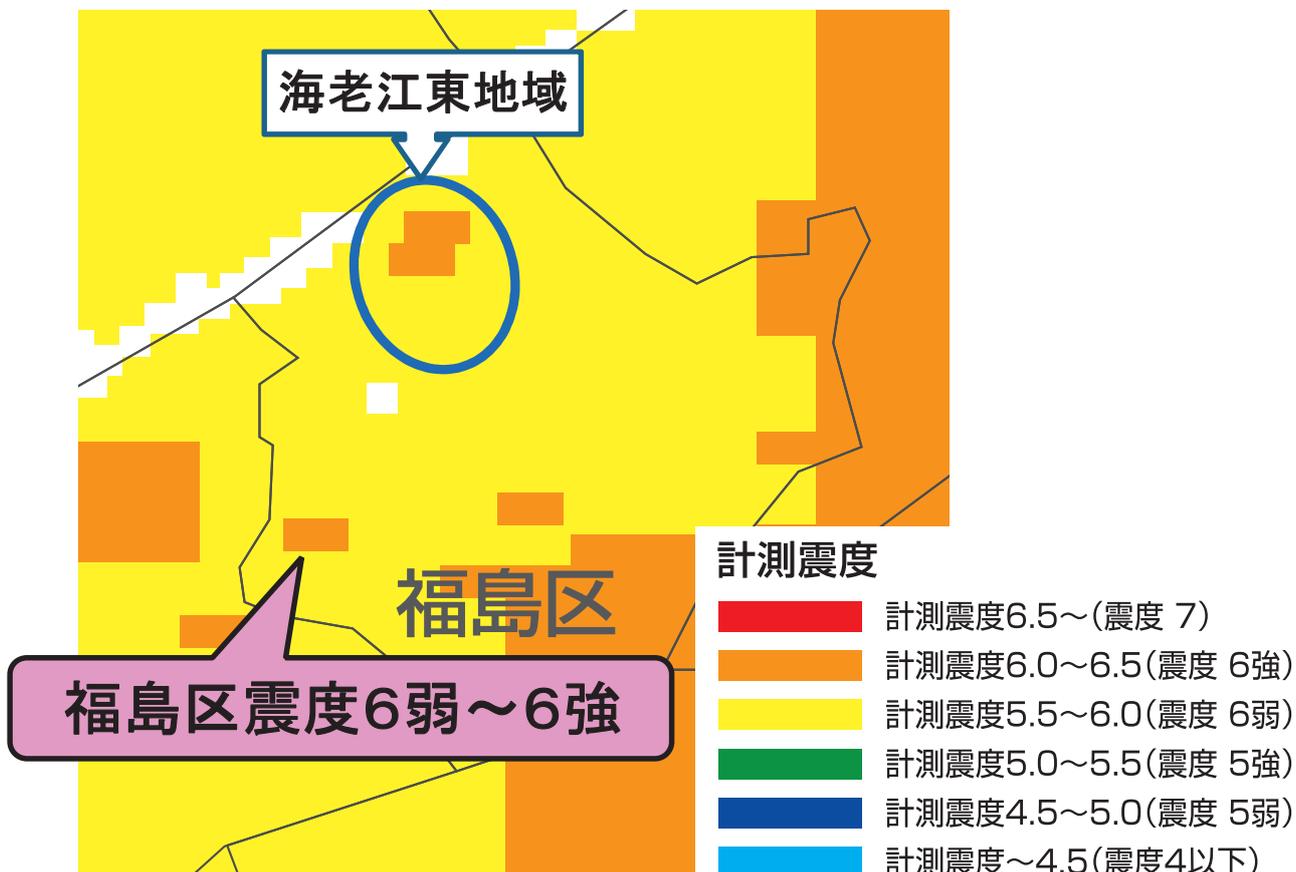
また、公的機関による助けを待つだけでなく、自ら災害への備えを行い(自助)、地域住民同士による助け合い(共助)ができるよう準備をしておく必要があります。



### (3)海溝型地震(南海トラフ巨大地震)



### (4)直下型地震(上町断層での地震)



# 震度6弱、6強、7とは

電気・ガス・水道などのライフラインはストップすることも予想されます。

## 震度 6弱

- 立っていることが困難になる
- 未固定の重い家具の多くが移動、転倒する
- かなりの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損

## 震度 6強

- はわないと動くことができない
- 未固定の家具のほとんどが移動し、転倒する
- 壁のタイルや窓ガラスが破損

## 震度 7

- 揺れに翻弄され、飛ばされることもある
- 未固定の家具は飛ぶこともある
- 補強済みのブロック塀も破損するものがある



### 海溝型地震の被害状況

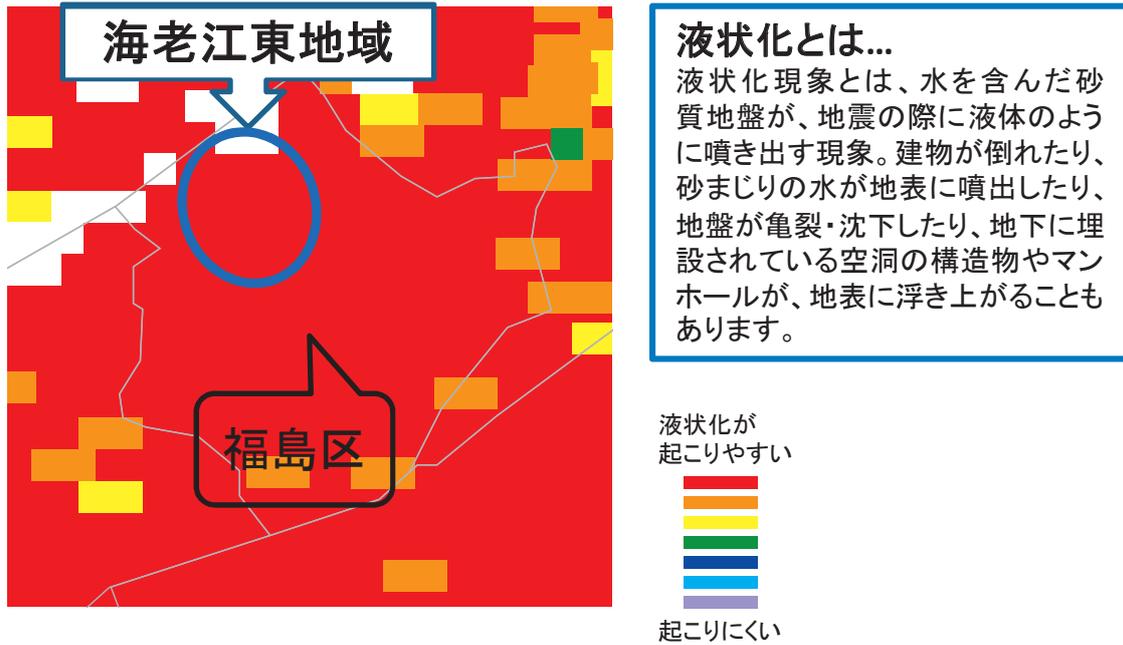
大きく長い揺れで津波が来る可能性がある。



### 直下型地震の被害状況

揺れは短い、激しく強く揺れる。  
高い建物でも大きく破壊するものがある。

## (5) 液状化可能性想定図



福島区では、全体的に液状化が起こりやすい地域となっています。液状化の被害が出ると亀裂や泥などで容易に通行ができず、避難路であっても機能しにくくなります。

## (6) 津波被害・河川氾濫・内水氾濫での被害



- 南海トラフ巨大地震による津波被害..... 約3.0m(最大) 青色ライン  
 [マグニチュード9.1程度の地震が発生し、最大クラスの津波による浸水が起きた場合(防潮堤の沈下や防潮施設の開閉状況を考慮)(満潮時を想定)]
- 淀川が氾濫した場合の被害..... 約5.1m(最大) 赤色ライン  
 [平成27年改正水防法に基づき、想定しうる最大規模の降雨として、24時間に360mmの降雨を想定]
- 豪雨などによる内水氾濫の被害..... 約0.5m(最大) 黄色ライン  
 [総雨量567mm、時間最大雨量93mmの降雨(東海豪雨級の降雨)を想定]

## (7) 福島区の被害想定

区分	上町断層帯	南海トラフ	生駒断層帯
全壊棟数	木造 2,295棟 非 201棟	木造 589棟 非 40棟	木造 410棟 非 22棟
半壊棟数	木造 2,190棟 非 532棟	木造 1,015棟 非 148棟	木造 712棟 非 113棟
死者数 (早朝)	46名	6名	3名
死者数 (昼夕)	47~49名	6名	4名
負傷者数	1,292~ 1,464名	634~685名	434~510名
避難者数	5,180名	1,636名	1,134名

(大阪市危機管理室編集)

## (8) 海老江東地域の被害想定

区分	上町断層帯	南海トラフ	備考
全壊棟数	木造 149棟 非 7棟	木造 67棟 非 3棟	
半壊棟数	木造 186棟 非 22棟	木造 112棟 非 12棟	
死者数 (早朝)	2名	1名	
死者数 (昼夕)	2名	1名	
負傷者数	137 ~ 141名	75 ~ 78名	
避難者数	313名	165名	

(大阪市危機管理室編集)